

第2章 河川の現況と課題

第1節 洪水による災害の発生防止又は軽減に関する事項

渡良瀬川圏域における過去の大きな水害は、昭和22年9月のカスリン台風をはじめとし、昭和23年9月のアイオン台風、昭和24年8月のキティー台風と連続して災害に見舞われ、なかでもカスリン台風は、当地域だけでなく群馬県全域で未曾有の災害をもたらした。

また、昭和57年9月の台風18号においても床上浸水を含む大きな被害が発生している。

近年においては、表-2.1に示すとおり、各支川等において、小規模な内水被害が発生しているが、河川改修の進展や桐生川ダムの完成（昭和58年）に伴って大きな洪水被害は減少している。

しかしながら、全国的に発生している中小河川の破堤氾濫による被害や、過去のカスリン台風などの甚大な被害が地域にもたらす影響を考慮すると、渡良瀬川圏域においても、住宅の密集する地域を中心に、今後も洪水被害軽減のために治水対策が必要であるといえる。

表-2.1 近年の渡良瀬川圏域の水害

発生日年月日	原因	床下浸水 (戸)	床上浸水 (戸)	宅地浸水 (ha)	農地浸水 (ha)
S57.7.31-8.2	台風10号	6			
S57.9.11-9.13	台風18号	357	43		
S61.8.11~8.19	豪雨	1		9	
S62.7.11~8.8	豪雨、台風第5号	21		30	200
H2.8.9~8.11	台風第11号	4	4	2	
H2.9.11~9.20	豪雨、台風第19号	3		2	
H6.7.18	その他の異常気象	5	3	45	
H9.7.31	その他の異常気象	1		1	
H9.8.29	その他の異常気象	27	1	27	
H9.6.18~6.21	梅雨前線豪雨及び台風第8号	2		3	
H9.7.25~7.29	台風第9号及び豪雨	1		1	
H9.8.3~8.13	豪雨及び台風第11号	2		3	
H10.8.25~8.31	豪雨	12	2	24	
H10.9.14~9.18	豪雨及び台風5号	2	1	14	
H11.9.9	その他の異常気象	3		2	
H12.7.1~7.5	豪雨	16		13	
H12.7.14~7.20	豪雨	4		4	
H14.7.8~7.12	梅雨前線豪雨及び台風6号	4		4	
H15.8.6~8.10	台風10号	9		10	9
H17.8.9~8.17	豪雨	2			4
H18	その他の異常気象	2	2		7
H19.7.29~7.31	豪雨	1			3

出典：水害統計 国土交通省河川局河川計画課、昭和56・57年洪水記録 群馬県土木部河川課